

共通課題に関する意見一覧

今年度の共通課題の委員会(原案(通信七九号参照))に対して、会員の方がたから左のようなご意見がよせられました。

1. 近代日本社会における村落と都市の線を中心に検討をすすめて下さい。
2. 「近代日本社会における村落と都市」、どうまとめるかは工夫が必要ですが、興味ある問題です。
3. △近代日本における都市と村落▽ 具体化はむずかしい面が多々あると思いますが……。
4. 「近代日本社会における村落と都市」がよいと思います。
5. 「近代日本の都市と農村」という題目で、二〇〇回大会に相応しく派手にやったらよいと思います。
6. 「現代村落」を中心とする都市化、変革の運動。(詳細は委員会に一任)
7. 「歴史的發展」の現段階における現代村落の特質を確認する作業を通して、二〇〇回大会記念の意味をもたせる。
8. 戦前を含めて、主として戦後に焦点をあわせながら、村落研究における主要な問題を提示しつつ、問題提起をいただいたらいかがかと思えます。
9. 委員会案の「近代日本の……」がよいと思う。ただその場合、

通日本的な把握を必要とし、この点西南日本・畑作・漁村といったこれまで弱かった方面も論ずる必要がある。

10. 研究通信七九号にあるように「近代日本社会における村落と都市」で共通課題はよいと思う。問題は、この課題を追求する視角なり態度にあると思う。現実の農民なり都市の住民の実践に役立つように研究することが必要だと思う。

11. 共通課題(2)(二〇〇年の成果と今後の課題)は疑問。(1)(近代日本社会における村落と都市)でやればよいと思う。共通課題を狭く限定しても、けっきょく各自の研究関心・立場・方法でやる以外にないし、共同討論もお互いの相違を確認するだけといってもよい結果に終わっているように思えるから。ともかく調査報告を各自の方法に従ってやり、参加者もそれから何かを得るようになる。平凡だがそれがいちばんよい。

12. 「二〇〇年の成果と課題」が応しいように思えますが、数多くの研究会を重ね焦点を絞らなければ、実体のない大会に終わることは目にみえていますので、(1)にまとまらざるをえないと思います。その際、△歴史的・段階的發展▽の規定に拘泥しすぎるのは考えものだと思っています。

13. 行政的な意味での「村」と生活の場としての「村」のくら違ふ二矛盾面を明らかにし、それと共に現状では行政下に「村」としてとらえられたという決定的な事実を無視することなく、日本の「村」を考えてゆく、という視角で歴史的にもう一度整理して見る必要があると思えます。

14. 歴史的な村、すなわち共同体としての村と、機能集団化している近代の村との関係を明確にしていけないと、日本近代化における農村と都市ということが不明確になってしまうと思われる。
15. 共通課題については、研究会などで理論的に問題点をにつめておく方がよいと思います。別に自由報告の場を設けて、大会の報告も共通課題については基本的な問題点には理論的な形でふれるような報告をふくめて行なうようにしてほしいと思います。
16. 共通ということで御苦心の程はわかりますが、近世から現代までは時期が長すぎ、かつ「村落」と「都市」そして「変動」と「変革」のすべてに亘るといふことになれば抽象的論議に止まらないうようにするとすれば、テーマの羅列だけで終ってしまい、「共通」の場がボヤけてしまっているのではないのでしょうか。
17. 村落とはなにか↓農民とはなにか↓農業とはなにか、といったことが問題となっていますので、農民或いは農業そのものを解明するような論議もときにはよいのではないのでしょうか。
18. 「集団栽培の形態（部落ぐるみと部落の一部による集団等）」と部落内の人間関係、集団と部落のかかわり、農民層分解等」について検討いただければと思います。
19. (前略) 戦後の政治・経済の動向が農村の変貌をおし進め、現在それが一つの極地に達していることからかんがみて、今の時点で、村落とは何か、村落を把握する視点、といった原理的な点での検討が必要だと思います。またそれに関連させて、農民意識の把握の方法も再検討する必要があると思います。
20. 農村の環境整備計画など幾多の再編成計画がうちだされていますが、その計画の主体たる農民の計画に対応した行動の原理的な諸問題を農村社会学的な点から追求していただきたいと思えます。
21. 「村落」研究の現代的意義づけを再確認する意味で、各時代ごとの具体的な研究報告を中心に、それをふまえた「村落」研究の意義の追求と再確認ができるような方法をとってほしい。その際経済学と社会学の両方の視角設定を配慮して下さい。
22. 村落社会研究の方法。
23. 都市と農村の統一把握のための方法についてもうけてほしい。
24. 日本村落の国際的比較研究。
25. 農村の国際比較はどのようにか。
26. アジアの村落構造についての研究を一つのセクションにしてはどうかと思えます。
27. 宗教（既成宗派ではなく）とか倫理感と云った Mentality について考察が従来著しく稀薄。教条的な図式主義の偏向強し。それでは所詮、堂々めぐりの議論に終るのではないか。
28. 在京委員ばかりが報告者になってしまいうような結果をまねかないための反省を伴った企画でありたい。自由課題は常に可能なようにしておくこと。

